



五味平一議員

## 防災全体を個別に再構築するべき

## 災害が発生する都度対応する

**質問**・・・2月14日の降雪に対する警戒及び待機状況は。

**町長**・・・2月14日の時点では降雪1メートルを超えている状況ではなかったが、12名の職員が夜間残って情報収集・除雪対応を行った。

**質問**・・・町長はいつ豪雪と知ったか。

**町長**・・・1メートルを超えることが分かったのは15日の午前中。

**質問**・・・この豪雪に対する行政サイドの行動事

象と顛末を時系列に説明を。

**町長**・・・14日から町内の建設会社で除雪を開始。降雪量が多いため、町内業者の力だけでは手に負えないことが分かり、16日の早朝に県に除雪を依頼。夜から県も加わり除雪を行った。

**質問**・・・町民に対し、降雪災害時の情報の伝達はどのように行われたか。

**町長**・・・有線放送を使い逐次行った。17日の夕方に区長を集め除雪の状況等を説明した。

**質問**・・・対策本部の立ち上げの遅れは雪害もあつたが人的災害も加わると考えられる。対策本部の立ち上げの手順は。

**町長**・・・14日の時点では、建設・上下水道等インフラや防災など、関係課が中心となり、警戒に当たっていたので、対策本部の必要性は感じられなかつた。

**副町長**・・・対策本部を立ち上げるときは町長の判断で立ち上げた。本部員を招集する規則はない。本部員は課長級であるが集める状況ではなかったが召集はした。

**質問**・・・下諏訪町では30センチ以上の降雪があると災害対策本部を立ち上げるマニュアルがあるが、富士見町では作成しているか。

**副町長**・・・作成していない。

**質問**・・・公務員は労働基準法第33条(災害時による臨時の時間外労働等)の適用になるか。

**総務課長**・・・今回の雪害では適用していない。

**質問**・・・防災全体を個別に再構築するべきではないか。

**町長**・・・災害が発生する都度対応する。

□その他の質問  
\*安全・安心の富士見町について

## 議会運営委員会・議会広報編集委員会 合同視察 <<平成 26 年 2 月 12 日～13 日>>

### ◆ ICTを活用した議会運営の取り組み (三重県鳥羽市議会)



鳥羽市議会は平成 22 年 2 月、地方議会ですべて初めて Twitter での情報発信を開始し、全国の議会関係者を驚かせた。その後、Google 社が運営する Google+ や、若者に普及している LINE でも公式アカウントを作成し、複数の SNS を活用した情報発信に努めている。CATV での議会議中継のほか、無料のインターネット中継サービス Ustream を活用して本会議だけでなく委員会を含む全会議をネット上で生中継し、Youtube にも専門チャンネルを開設して録画映像を配信するなど、ネットを活用した情報発信の充実ぶりは群を抜いている。他にも、各議員の所有と持ち込みを許可する方式でタブレット端末 (iPad) が導入され、議場に設置された大型モニターに接続して図画を表示できるようにするなど、住民により分かりやすい形での一般質問にも大いに役立っている。

### ◆ 「開かれた議会を目指す」議会運営の取り組み (三重県明和町議会)

富士見町議会では議会改革への取り組みが始まって 10 年が経過し、議会報告会や町内各種団体との意見交換会を開催するなど、現在も「町民に開かれた議会」を目指して模索が続いているが、今後もその歩みを着実なものとするため、同じ課題を持つ明和町議会との情報・意見交換を行った。明和町議会では、初の議会報告会を昨年 10 月 17 日から 11 月 10 日にかけて町内 5 会場で開催し、延べ 95 人の町民が参加した。報告は議会活動や審議状況 (議会報告・質疑応答・意見・提言) を主体とし、議員個人の見解を述べないものとしたことである。また、過去に町民から「日曜日に議会を開いて」との要望があり、理事者からの申し入れを受けて平成 11 年 6 月定例会から日曜議会を開催したが、傍聴者の減少により現在では見合わせているとのこと。他にも一般質問や反問権の運用などテーマは多岐にわたり、活発な質疑と意見交換が行われた。

※今回の視察報告書は富士見町議会ホームページで公開しています。